

### 一般質問



#### おおむたPRキャンペーン

**問** PRキャラバン隊として自らキャンペーンに取り組まれる関市長の思いを聞きたい。

**答** 市長である自らが先頭に

立ち、ジャー坊や職員と福岡のテレビ局などを訪問し、多くの豪雨災害への支援に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、大牟田の住みやすさや魅力を積極的にPRしたいと考えている。

#### eスポーツを活用したまちづくり

**問** eスポーツを活用したまちづくりの可能性について聞きたい。

**答** 他都市では、eスポーツを活用してにぎわい創出、多

世代間交流、デジタル技術のスキルアップ、ひきこもり予防やフレイル予防など試験的な取組も含む多岐にわたる活用の事例がある。本市においても検討を進めている。

#### 生命を守りはぐくむまちづくり

**問** アピアランスケア※推進事業の内容について聞きたい。

**答** がん治療に伴う外見の変化を補完する医療用ウィッグなどの購入経費の補助を行う。

※アピアランスケア…治療に伴う外見の変化に対し、外見とともに周りの環境や患者本人の気持ちを整えるサポート



#### 命・環境・国土を守る農業食の確保は安全保障の要

**問** 日本は食料の6割を海外に依存し、農家数も耕作面積も減り続けている。本市農業者の現状と今後への考えは。

**答** 地域農業の維持、発展には農業者が所得を確保し、将来計画が立てられるよう継続した支援が必要と考える。

#### 有機給食で広がる有機農業安心・安全な食の確保を

**問** 昨年策定され、法案成立した「みどりの食料システム戦略」に有機農業の振興が掲げられたが、どう取り組むか。

**答** 本市で取り組めるかどうか、事例調査や関係機関との意見交換等を行っていきたい。

**再発言** 本市には長年取り組

まれている有機農家も存在し、支援や拡大には当局の姿勢が肝要。しっかりと推進を。

**問** 各地で有機の学校給食から有機農業が広がっている。本市の有機給食への考えは。

**答** 給食には材料の安定した供給体制と価格が求められるため、情報収集を行いたい。

**再発言** 千葉県いすみ市は、有機農家ゼロから市立全小中学校で全量地元産有機米の学校給食を5年で実現、有機農家も23戸に増えている。他市も参考に、しっかり検討を。



#### 児童生徒の不登校問題に対する考え方とその対策

**問** 不登校の児童生徒数は、令和3年度の中学校で230名と、平成30年度から増加している。教育委員会の所見は。

**答** 本市の不登校児童生徒数は、全国の出現率より高く、重要な課題と考えている。

**問** 食育関連の不登校対策は。

**答** 朝食に関するアンケートでは、約92%は朝食を取っているが、朝食が用意されていないとの回答もあり、課題と考える。そこで、早寝早起き朝ごはん運動を進めている。

**問** 調査には、朝食の内容を問うことも重要。また、具体的対策も必要だが、案は。

**答** 大牟田市PTA連合会と同運動の合同活動を検討して

おり、この活動で生活習慣が改善されると両者において認識している。

**問** 入学前から不登校の危険性があるケースにおける子ども家庭課と小学校との連携は。

**答** 社会福祉士の資格を持つ家庭相談員を1名増員し、子ども家庭総合支援拠点として相談体制を強化するとともに、教育委員会のスクールソーシャルワーカーと連携して、様々な問題を抱える家庭に対して、一緒に訪問を行うなど対策を図っている。